

## まちづくり連続講座⑰「新庁舎問題」は台風で11月2日に開催

# 新庁舎整備のあり方を考える—経過と現状、課題は？

「市民まちづくり連続講座 in 明石」の第17回講座は10月12日に「新庁舎整備計画」をテーマに開催を予定していましたが、超大型台風19号の来襲のためいったん中止し、11月2日(土)にあらためて開催することになりました。

時間と会場は下記の通り変更はありません。多数のご来場をお願いします。

建て替えの議論が本格的に始まってから4年。10月15日には市議会が「現在地での建て替え」を決議し、財政面から早期実現を求める決議を行い、新しい段階に入りました。市民への直接説明がないまま進む重要課題について、市の担当者が経過と現状について説明します。この機会に耳を傾けませんか。どなたでも参加していただけます。

## 第17回 市民まちづくり連続講座 in 明石

日時 11月2日(土) 午後1時30分～4時30分

会場 ウイズあかし8階 市民活動支援センター・リースペース(アスパia明石8階)

テーマ 「新庁舎整備のあり方を考える—経過と現状、課題はどこに」

明石市政政策局の「出前講座」として開催します。山口泰寛・新庁舎担当課長らが出席。

新庁舎建て替え問題は4年前から本格的な議論が始まり、2017年3月に基本構想を発表。その後も候補地を絞り込むなど議会の特別委員会と市で進められていますが、市民への直接説明は再三の要望、請願にもかかわらず行われていません。出前講座という形ですが、市民に直接説明されるのは初めてです。

※無料。事前申し込みは不要。どなたでも参加できます。当日会場にお越しください。

## 明石市議会が「現在地建て替え」の早期推進を決議

明石市議会は10月15日の本会議(9月議会最終日)で、庁舎建て替えに対する国の財政支援メニュー「市町村役場機能緊急保全事業」の活用で市の財政負担を抑えるため、「現在地での建て替え」を早期推進する決議を全会一致で採択しました。市は9月26日の新庁舎整備検討特別委員会で「議会の意思が示されたら、全力を挙げて取り組む」と宮脇副市長が答弁しています。

これで、140億円近い概算費用を伴う新庁舎建設事業が、市民への説明や意見を聞く機会のないまま市と議会で骨格が決まることとなります。さらに、これから1年半という短い期間に「基本計画の検討、策定→設計業務の公募と契約→基本設計の作成」を経て、2021年3月までに「実施設計に着手」という“時間に追われる巨額投資事業”が進められることが濃厚になりました。(国の財政支援メニューの問題点や、スピード決着の経緯については、ニュースレター48号を参照ください)

市議会の特別委員会は「2年半の審議を重ねてきた」とはいうものの、昨年5月に委員構成を大幅に変えて、議員数3名以上の会派から代表を一人ずつ(10名を超える最大会派の真誠会だけは2名で、委員長ポストを握る)という特別委としては異例の“少人数”委員会で運営してきました。各会派内での意見の取りまとめを優先し、委員会は会派の意見の“持ち寄り”と調整の場と化していました。

審議も総じて深みを感じられず、少数会派の議員は意見を出す場がないという展開が続いたうえでの決議でした。

# 市民まちづくり連続講座 in 明石

## 今後の講座開催計画とこれまでの足どり

回	日 時	テーマと内容	会 場
⑰	11月2日(土)	新庁舎整備のあり方を考える—経過と現状、課題は？	表面記載を参照
⑱	11月30日(土) 13:30~16:30	「明石のみちビジョン—過去、現在、未来」 明石市は5年前に、10年後の道づくりを見据えて基本的な方針を定めた「明石のみちビジョン」を策定した。道路行政の転換点に際して基本的な方針を定めたもので、これを踏まえて明石の道づくりの過去、現在、未来を考えます。今夏に4つのルート案が発表された播磨臨海道路計画や懸案の都市計画道路の儒教についても議論します。	ウィズあかし8階 フリースペース
<b>終了した講座とテーマ</b>			
①	2017年7月23日	明石港再開発計画とは何か？	自主講座
②	2017年8月26日	中核市移行の持つ意味と課題	明石市の出前講座
③	2017年10月7日	旧図書館跡と生涯学習センター分室の行方	明石市の出前講座
④	2017年10月28日	明石の食文化とは何か？	自主講座
⑤	2017年12月3日	「支え合いの地域福祉」の現状と課題	明石市の出前講座
⑥	2018年1月28日	公共施設の削減計画はどうなった？	明石市の出前講座
⑦	2018年2月24日	明石市議会はいま…どうなっているの？	自主講座
⑧	2018年4月15日	自治基本条例の市民検証報告書を読む	自主講座
⑨	2018年5月19日	明石の飲料水(上水道)事業の過去、現在、未来	明石市の出前講座
⑩	2018年6月24日	清掃工場の建て替えとゴミ減量行政の課題	明石市の出前講座
⑪	2018年7月29日	小学校区の「協働のまちづくり組織」はいま…	明石市の出前講座
⑫	2018年8月26日	下水道の整備計画はどうなっているのか？	明石市の出前講座
⑬	2018年10月27日	地域と学校 コミュニティ・スクールの現状と課題	明石市の出前講座
⑭	2018年11月10日	制度が変わった国民健康保険 負担と財政は？	明石市の出前講座
⑮	2018年12月9日	支え合いの地域福祉 PartⅡ どう展開しているか？	明石市の出前講座
⑯	2019年9月21日	保育の質と量—明石市の子育て支援を考える	自主講座

## 新駅開発の伏線？ 市とJRが包括連携協定

明石市は9月26日「鉄道会社と市が一体となって鉄道沿線のまちづくりをめざす」とする「包括連携協定」をJR西日本と締結しました。

明石市とJRは現在、ホーム柵などの安全対策や宅地開発、観光振興対策などで個別に協議しながら対応してきましたが、この協定によって個別に“縦割り”で話しあうのではなく、JRに関係するまちづくり施策を「総合的に協議」できる仕組みを整えるという。

### 大久保—魚住駅間の新駅構想は北口市政時代のぶり返し？ 市街化調整区域の開発に連動か？

ただ、この協定に際して、JR神戸線の大久保—魚住駅間に新駅をつくる構想や沿線の開発が議論の俎上に上っており、またぞろ新駅計画がぶり返したり、沿線の市街化調整区域の農地をつぶして都市化を図る開発攻勢につながる懸念も出ています。JR新駅構想は、北口市政時代にも西明石—明石駅間(和坂付近)や大久保—魚住駅間の開発構想案が浮上し、巨額の地元負担などから沙汰やみになった経緯があります。9月議会でも質疑の中で出ており、展開に注目！